

(款) 10総務費 (項) 5総務管理費 (目) 50文化振興費

◎文化振興の経費

平和推進事業

文化推進課

【総合計画上の位置づけ】

人権を尊重し、人との出会いを大切にすまち

平和・人権: 平和を希求し、人種や国籍、性、出身、障害、年齢などによる差別のないまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 平和都市宣言及び市民憲章の精神に基づき、市民の平和意識の醸成を図るとともに基本的人権に対する考えを定着させるため。

効果 平和について考えるきっかけを多くの市民に提供し、平和を基調にした世界に誇れるまちづくりを図る。

【事業の内容】

(1) 平和推進事業

- ・ 市民実行委員とともに講演会やコンサートなどの平和推進事業を企画実施した。
- ・ 芸術を通して平和の大切さを考えることを目的とする、公募による展覧会を実施した。
- ・ 平和都市宣言50周年を記念した事業として、宣言文を記した記念碑を設置した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

平和推進事業(1-1-1-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,259	3,259	2,815		444

主な支出内訳

・ 平和推進事業

臨時的任用職員賃金	55
平和文化展案内ポスター作成印刷製本費	40
平和都市宣言50周年記念事業委託料	998
芸術館使用料	0
日本非核宣言自治体協議会負担金	60
鎌倉平和推進事業実施負担金	1,371



平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・平和関係の事業の参加者は、開催場所や題材などの事業内容によって変わってくるが、依然として中高年層が多い傾向となっている。このため若い年代層が興味を持って参加できる事業も必要である。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・平和推進事業は、公募による市民で構成された実行委員会との協働により、平和について考える機会を提供するため効果的な事業になるよう題材や構成等、企画、運営に留意した。 また、憲法記念日に映画上映会などを行う「憲法記念日のつどい」をはじめ、年間に実施する事業数や実施時期は定着してきた。平成20年度は、平和都市宣言から50周年の節目として例年より事業数を増やし、若い世代を対象にした感想文等を募集し作品集とする事業などを実施した。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・平和関係の事業の参加者は、開催場所や題材などの事業内容によって変わってくるが、依然として中高年層が多い傾向となっている。平和都市宣言の精神を広め、後世に伝えるためにも若い世代が参加しやすい事業を定例的に実施していく必要がある。
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・若い世代の参加を目指した事業の必要性については認識しているため、実施に向けた具体的な企画立案に努める。また、啓発的な事業を中心に進めていくが、その他にも特色がある効果的な施策の実施について検討する。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 なし
	今後も実行委員会との協働により、幅広い年代層の参加が得られるような平和推進事業の実施について検討する。				
担当課長氏名:		宮崎 淳			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 なし
	実行委員会との協働により実施している事業は定着してきている。引き続き実行委員会が主体となった企画、運営により、市民の平和意識の醸成を図るため様々な事業を実施する。				
担当部名	生涯学習推進担当	部長名	金川剛文		